



みんなで力を合わせ
憲法の条を守りましょう



4割値上げ!!
11年間で

国保税値上げ条例が可決される

市民の命と健康が危ない!! 声をあげ止めましょう!!

市民の声

国保税値上げ! 計算してみて驚きと怒り!!!!

私の(70代一人暮らし)2023年度の国保税は109,100円。2024年度は6.45%値上げで約116,140円になる。おーっと約7000円の値上げだ! 11年後は40.5%値上げになるという。なんと約44,000円アップの約153,285円だ! 私のひと月分の年金額に近い金額じゃないか!

70代を迎える健康不安が増えてきた。政治は私たちの命と暮らしを守れ! と政府には声を大にして叫びたい。

(喜平町在住)

(値上げ後の金額は、2022年1月~12月の所得ベースをもとに個人の計算による)

国保税は国と自治体が責任を負う医療保険制度です。加入者世帯の多くは年金生活者などの無職、非正規労働者、

私は苦しくなつており「国保税が高すぎて、払いたくても払うことができない」と党市議団のもとへも相談が寄せられています。

年間で40・5%もの値上げを行うとし、今回は6・45%

12月議会で、国民健康保険税(以下国保税)の値上げ条例が市から提案され、賛成多数で可決されました。日本共産党市議団は市民の命と健康を守る立場から、反対しました。

しかし、国は地方自治体が独自に国保税財政へ補助金を出すことを禁止させ、守らない自治体にはペナルティとして交付金削減など国保制度の改悪を進めています。

これに対しても、日本共産党や全国知事会・全国市長会なども、国保への1兆円の公費投入を政府に要望し続けています。

国民皆保険制度のもとでは誰もが安心して医療を受ける権利、健

康になる権利、生きる権利が保障さ

国保制度を改悪

自公政権が

学生、低所得者層の方たちです。国保加入者の平均所得は1世帯当たり136万円(全国平均)となつてお

り、国保税が高すぎるため、小平市も

住民の負担を軽減してきまし

た。自公政権へ補助金を出し、

含め地方自治体によっては独

めに、国保税の値上げをやめ、引き下げを求める立場で取り組んでいます。



市民の要望が前进! 第3子以降の給食費無償化の実施など

2024年1月から学校給食費の第3子以降無償化実施が決まりました。

党市議団は、すべての子どもたちを対象に給食の完全無

償化の実現に向けたこれか

らも強く

要望していきます。



小林市長へ来年度の予算要望書(127項目)を提出する党市議団

補聴器購入補助

市長からは 前向きな答弁

補聴器購入費補助の

一日でも早い実施を求めた党市議団の一般質

問において、市長は「実施に向け検討してまいります」と答弁。

来年度予算には必要経費が計上されるよう実現に向け粘り強く頑張っていきます!

国保税の値上げ条例の賛否

反対 日本共産党市議団
一人会派の会
まちづくり市民こだいら
市議会れいわ新選組

賛成 政和会
市議会公明党
フォーラム小平
生活者ネットワーク

市議団の一般質問



東京都が小川給水所の一部の取水を再開していたことが判明！

PFAS 水污染問題

所では、2020年7月に1リットル当たり280ナノグラム（国の暫定目標値は50ナノグラム）の高濃度のPFAが検出され、水源井戸の取水を停止していました。

水道局に対し、①給水栓で暫定目標値を上回った場合には、直ちに対策を講じること、②市に対し遅滞なく情報提供すること、などを緊急に要請しました。

局の取扱
判断は市
安な想い
したもの

い
ま
す。

しかし、都水道局
中旬、住民に知らせ
なく取水を再開して
とが党市議団の追及
かになりました。

市民の方からは、「PFAは発がん性や子どもの成長に悪影響があると聞きとても不安」、「水道水を飲むのをやめ水のペットボトルを購入している」、「家庭用の浄水器を急遽購入し設置した」などの声が上がつて

党市議団とし
ては、これからも希望者への血液検査や市内の井戸の水質調査の実施など、P.F.A.S水汚染問題から市民の命と健康を守るために頑張
つていきます。

小川住宅の建て替えと、小川東町3丁目の大規模マンションション計画の合計予想戸数は1200戸超です。既に小川駅西口タワーマンションの工事が始まっています。人口増による小平第6小学校、小平第2中学校、

童增加へ
026年
の一部を
変更し、
6小学区
である小

対応として、2
月から通学区域

川西町の一部を小平第13小学校の通学区域に変更するとしています。



ほ
そ
や
正
議
員
所 属
環境建設委員会委員
長、都市基盤整備調
査特別委員会副委員
長幹事長、団長

小川地域の人口増 学校教室・保育園

足りなくなる?



地域の声を議会に！ 喜平橋周辺の 改善を求めて！

A photograph of a paved sidewalk next to a road. A concrete barrier runs along the sidewalk. In the background, there are buildings and utility poles.

「喜平橋にある西側の歩道が狭いため自転車で通るときは、反対側で待たなければならぬ。交通量も多く大変危険だ」「喜平橋周辺は、新しい住宅も増えてき

全が心配」。地域の方からの切実な要望を受けて質問しました。市は「歩道の幅が狭く、

の改良に向けて検討を進めている。歩行者がより安全に通行するための取り組みについて、東京都と情報共有を図りながら連携していくとしています。

引き続き、市民の皆さんから寄せられた地域の声を市政に届けてまいります。